

最近の感染事例について

R3.5.21

健康福祉部

ポイント1

従来株から感染性の高い変異株(N501Y)への置き換わりが進んでいる。

ポイント2

基本的な感染対策を怠るなど、気の緩みが見られる。

【具体例】

症状があるのに出勤・登校していた

鼻水やのどの違和感、発熱などの症状があったが、花粉症かと思い込み、会社や学校に出勤・登校していた。その後、症状が悪化して陽性が判明したが、職場の同僚や同級生にも感染が拡大した。

換気の悪い空間で時間を過ごした

マスクを着用していたが、換気の悪い空間で、陽性者と距離をとらずに会話をしていた。

飲食店で感染拡大予防ガイドラインが遵守されていなかった

アクリル板の設置がなく、換気が不十分で、マスクをせずに接客していた店舗において、従業員と利用客が集団感染した。

マスクを外して会話をした

昼食時や休憩時に、マスクを外して同僚と大きな声で会話をしていた。

感染対策の気の緩み

スポーツなどの際に更衣室やトイレなどを共有していたが、ロッカーなど共有物の消毒が不十分で、出入口に置かれた手指消毒薬もほとんど使用していなかった。